

2010-2011

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MEINAN

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com



地域を育み、大地をつなぐ

2010-2011 年度 RI 会長 レイ・クリンギンミス

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
■会長 / 太田 敦士 ■幹事 / 吉木 邦男 ■会報・雑誌・広報委員長 / 三島多恵子
■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

第959回

2011年6月28日(火) 晴 第46回

～ ロータリー親睦活動月間 ～

斉唱 われら日本ロータリアンの歌
出席 会員65名(出席率算入人数60名)
出席47名 出席率78.33%
前々回補填率94.92%(6月14日分)
ゲスト 米山奨学生 キム・ウォンギョンさん

会長あいさつ

会長 太田 敦士さん

皆さま、こんばんは。いよいよ今日で最後になりました。1年間、本当にありがとうございました。

何とか難破船にならずに寄港できたということで、色々その間皆さまにはご迷惑を掛けたこともございましたが、何とか1年間乗り切ることができました。ありがとうございました。

幹事報告

幹事 吉木 邦男さん

1. 海外出張届けが出ております。杉山隆秀さん、6月26日～7月8日まで、インドネシアへ、商用です。

ニコボックス

- ◆ 太田会長、吉木幹事、理事、役員、委員長の皆様、一年間ご苦労様でした。太田丸の無事の寄港心からお喜び申し上げます。 小山 慎介さん
- ◆ 皆様のご協力のおかげ様をもちまして、無事終了出来ました。有難うございました。

親睦活動・家族委員会 朝比美和子さん

- ◆ 今年度最後の例会クラブフォーラムです。充実した例会になりますように!!

坂田 信子さん 安藤 修さん 江村 雅夫さん
 川瀬 悟さん 山本 誠一さん 児島 徳和さん
 川村 繁生さん 出田真太郎さん 杉本 勇さん
 田中 省三さん 久米 伸治さん 田中 一雄さん
 森田敏二三さん 吉木 邦男さん 伊藤 博昭さん
 榊原 和美さん 白銀 義昭さん 林 隆二さん
 中西 芳子さん 伊藤 圭一さん 中村 勝さん
 細井 俊男さん 新原 尚さん 猪村 美之さん
 白藤 憲雄さん 佐々木元彦さん 浅井 浩さん
 鈴井 一博さん 有川 英敏さん 宮崎 良一さん

水野 俊男さん 三浦 和人さん 三島多恵子さん
 本多 利郎さん 東山 直史さん 川辺 清次さん
 長尾 浅吉さん 犬飼りさ枝さん 大橋さなえさん
 木下 福郎さん 生野 房江さん

本日合計 50,000円 累計 1,789,000円

ピアニスト 古山緑さん あいさつ

創立以来ずっと居心地が良く、毎年忘年家族会でも、いつまでお世話になることになるのかなど、思いながら続けてきました。とりあえず今日で、色々な思い出と共にお仕事の方を納めさせていただきます。



ただ、合唱団の方はもうしばらくお世話になるつもりです。合唱団が皆さまの前で歌うときには、私も伴奏者として、また皆さまにお目にかかります。皆さまとまた笑顔でお会いできる事を楽しみにしています。本当に長い間、ありがとうございました。

同好会報告

■混声合唱団 世話役 川辺 清次さん

前回、6月4日のチャリティー合唱祭の名南RCの寄付金が50,008円だということをご報告させていただきましたが、全体の義援金が決まりましたので報告します。当日の義援金トータル156,512円を含めまして553,520円集まりました。お約束通り、あしなが育英会東北へ振込みをさせていただいております。

昨日もNHKのクローズアップ現代で大震災の遺児ということで、両親と祖父を亡くして祖母が小学生の子を1人で育てなければいけない現実が放送されておりました。

チャリティー合唱祭は、今後10年間続けるつもりです。来年も5月に会場も決まっておりますので、またその節は、皆さまにご支援をお願いしたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

第961回例会(7月12日)のご案内
フリートーキング例会(委員会別席)

■ 2010-2011 年度 クラブ事業報告

会長 太田 敦士さん

当初は、20周年の記念例会が最大のクラブテーマでしたが、3月11日に東日本大震災で未曾有の被害が出た為に、支援等色々な面で大きな事業の1つになりました。

今年度、始めるにあたって、明るく楽しいクラブ運営が一番大事だと思いました。これまでは、入会して経験の浅い人が、なかなかロータリーに馴染めず、例会の意味がよく分からないということで、早い時期に退会されることが多かった気がしていたので、何か良い方法はないかと考えておりました。そんな時、たまたま西名古屋分区の西村ガバナー補佐から、3~4人で1つのテーブルを囲めば上手くいくのではないかとヒントをいただきました。榮RCではミニ懇親会という名前で行われておりますが、吉木幹事がシェイクハンドミーティングと良い名前をつけてくれまして、3~4人で1テーブルという例会を始めました。これの成果は分かりませんが、是非来年からも続けていただければと思っております。



また、委員会の継続性ということで、特に社会奉仕委員会は継続事業があるので急に委員長が変わると上手く繋がっていかないという問題がございました。そこで、副委員長が委員長に昇格するという形でいけば、比較的コミュニケーションが上手くいくのではないかとということで、副委員長の人事を山本エレクトに頼み、来期は副委員長が委員長になるということで始めました。これは、来期も継続されるようなので上手くいってほしいと願っております。

そして、創立20周年記念例会に対する私たちの役目としては支援だと考えて取り組んで参りました。その中で一番大きかったのは、台北ミレニアムRCとの提携・調印です。その後、先方より東日本大震災に対して最初150万の義援金の申し出がありました。日本に比べれば、物価が3分の1の台湾からの150万であるので、我々はその3倍の450万を出して、600万で支援事業をしようと決めました。その後、台北ミレニアムRCは、台湾の中にミレニアムと名前の付く3つのRCと提携されているようで、そちらからも義援金が寄せられまして、最終的には180万くらいになりました。更にRIに補助金を申請されるということで、その手続をされる為に、今はこちらからも色々な資料を送っている段階です。このように、20周年と東日本大震災がリンクしたような形で、うちのクラブの最大の事業になりました。

また、地区のガバナーから、ガバナー会として東北へ義援金を送りたいという要請があり、理事会で決めて最初に10万円を送らせていただきました。更に要請がありましたが、すでに450万を台北ミレニアムRCとの共同事業でやると決まっておりますので、今回は50万を拠出しました。

最後に、クラブ基盤の強化ということで、会員増強に色々努力しましたが、今年は1名の入会に対して大量の退会者が出て、実際には大きなマイナスになりました。増強に向けて弾みをつける為に、RI会長賞に挑戦しましたが、財団の寄付額が達成できなく

て今回は断念いたしました。どうしても会長賞が欲しかったわけでもないのですが、皆で上手く、もっと盛り上がるのが出来れば良かったというのが、私の最大の反省材料になっております。

なかなか力及ばずで、思ったことが何も出来なかったような気がしておりますが、皆さまには色々協力をしていただきまして、1年間本当にありがとうございました。

■ 2011-2012 年度 会長あいさつ

山本 郁矢さん

太田会長、吉木幹事、本年度の理事・役員として頑張られた皆さま、本当にご苦勞様でございました。また、伊藤実行委員長、川辺事務局長、20周年記念例会、本当にご苦勞様でございました。



私共は21周年、新年度のような気持ちで次年度頑張ろうという思いです。今日は、今年から太田会長をはじめ皆さまが実行された事、来年も引き続きやっていかなければならない事を皆さんにお話申し上げて、ご協力をお願いしたいと思います。

まず、台北ミレニアムRCとの姉妹提携の延長線で、今度の東日本大震災への義援金を我々と一緒というお話が、今年の委員長の木下さんに入ってきております。これをどのように協力していくのかというようなことは、先程太田会長がお話された通りでございませう。台湾の3つのミレニアムRCと私共で義援金をどのように東日本大震災の被災者にお届けしたら良いかが今年協議され、社会奉仕委員長の児島さんに骨折りいただき、現在では岩手県大船渡市の児童養護施設大洋学園に400万円、気仙沼の社会福祉法人旭が丘学園に200万円というような形で義援金をお出ししたいということが、詰めの段階に入っております。これからは児島さん、木下さん、更に次年度の社会奉仕委員長の鈴木さん、次年度の国際奉仕の浅井さんに十二分に詰めていただき、これの実行というのが私共の年度に入っております。

次に、市内24RCという社会奉仕委員会がございませう。慣例上、私共がこれのホストクラブということになっております。次年度は社会奉仕委員長の鈴木さんが中心となって、市内24RCの社会奉仕委員会が運営されます。

そして、次年度社会奉仕委員長の鈴木さんと、次年度に中心になっていただく東山さんで、地区補助金の有効活用ということで、9月に養護施設のフットサル練習試合交流会を考えております。これは今年度から次年度に対して申し送りされ、これを煮詰めて実行というのが私共の年度でございませう。

更に、次年度は西名古屋分区のガバナー補佐として、当クラブから三浦さんにご活躍願わなければいけません。色々な面で全面的にガバナー補佐のご支援をし、頑張っていただかなければなりません。一方で、2月にもう計画を立てておりますが、山本誠一さんが実行委員長、川辺さんが副委員長としてIMを行います。これにつきましては、今後、三浦さんを含めて協議して皆さまに会場運営や親睦等々ご協力を願って、何が何でも成功に結び付けなければならないということがございませう。

また、小山慎介さんが地区の会員増強委員長としてご活躍されております。米山奨学委員会には加藤さんに出ています。年次寄付委員会で川村さんに頑張ってもらっています。米山奨学生のカウンセラーとして坂田さんに頑張ってもらいます。

このような状況の中、皆さまには、本年度以上に絶大なるご協力を節にお願い申し上げ、今日のクラブフォーラムとしてのお話とさせていただきます。

■幹事 吉木 邦男さん

今日が私の幹事としての最後の例会になります。ほとんどロータリーの事を知らないまま、太田会長のご指導の下、会員の皆さまのご協力を得まして、何とか無事終わったと考えております。



個人的には、20周年の時に色々な思い出があります。台湾の良い仲間と知り合う事もできました。これもロータリーの会員だからこそ、こういう経験もできたのだと思います。物故会員の時には、思い入れが強すぎて、少し泣いてしまいました。最後に小澤さんの顔を見ていると、いろいろな思い出話を懐かしく感じ、寂しい気持ちになりました。個人的に僕がロータリーに期待しているのは何だったのかと考えると、もちろん奉仕の気持ちを教えていただいたり、勉強もさせてもらいましたが、やはり人の輪とか、友情とか、人の優しさや繋がりという事を、このロータリーの中に期待し、育て、これからも育てていきたいと思っています。

名南RCが、いつまでも明るくて清々しい人たちの集まりであれば良いと思います。また、来年からも会員として努力いたしますので、宜しく願いいたします。